

～地域別市民ワークショップ情報誌～

まちづくり 瓦版

大津島
小学校区
第1回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

“私たちのまち”を語り合う、ワークショップ^o 開かれる

- 7月20日(金)、午後1:30から、馬島ふれあいセンターにおいて、周南市都市計画課、都市整備課主催の第1回地域別市民ワークショップ（参加者が対等の立場で、意見交換や作業を行う方式の懇談会）が開かれました。
- ワークショップの目的は、都市計画に関する基本的な計画「都市計画マスタープラン」、及び緑地の整備・保全に関する「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声を計画に反映させることです。
- 島内から15人が出席し、市の司会進行のもと、3班にわかれて、地域の「良いところ」「悪いところ」について意見を出していただき、望ましい将来の姿やその実現のための方策などを提案していただきました。
- 約2時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。
- 島の活性化や人が定住していくためにはどうしたらよいかなど、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

◆作業プログラム

時間	内容	時間
13:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約20分
13:50	★「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約40分
14:00	★ステップ1「よいところ、わるいところを探す」 よいところ、わるいところマップをつくる	
14:30	★ステップ2「こんなふうになりたいことを考える」 こんなふうになりたいねマップをつくり整備メニュー整理表に整理する	約40分
15:00	★「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
15:10	★ ステップ3「発表」 成果を発表します	約20分
15:30	まとめ	約10分
15:40	おつかれさまでした。解散。	

イチおしは
「石風呂（本浦）
と素晴らしい景色」

じゃけん。

おいでませ大津島！！

（よいところで一番多かった
意見です。）

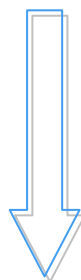
1 班の主な意見

よいところ

- ・がまの群生地がある
- ・砂浜、海水浴、海の景観が良い
- ・石風呂サウナがある
- ・市街地の夜景がきれい
- ・良き魚場がある

わるいところ

- ・救急船がない、夜間の対応ができない
- ・落石が多い
- ・高齢化で道路の草刈などができない
- ・防犯灯が少ない
- ・荒地、畑など有効利用ができていない
- ・波返し（馬島）が中途半端

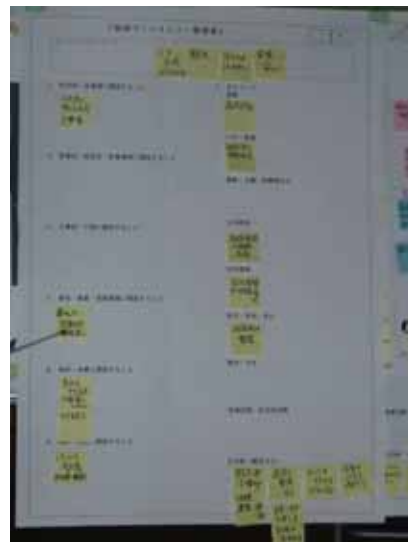


まちづくりのキーワード・テーマ

人と交流がさかんな、観光、今よりはにぎわい、安全・安心

施策メニュー

- ・子供達の帰れる住宅の整備をする
- ・農地の流動化の推進をする
- ・荒れた竹林の整備とともに竹細工を作ってみる
- ・波止の整備（防波堤、護岸）を進める
- ・落石防止の対策を行う
- ・定期便を時間延長する
- ・学校舎跡を有効に活用する
- ・風力発電の可能性の検討をする
- ・救急船の整備をする
- ・観光客を増やすための検討（体験農業・漁業・林業）をおこなう
- ・道路を整備する
- ・山にも行けるように山道の整備をする
- ・食事ができる場所の整備をする



★ワークショップに参加して（終了後のアンケートのご意見です）

・マスタープラン・ワークショップ等のカタカナ言葉は、学問的で難しく感じましたが、各テーブルの進行役のくだけた進行で、いい意見がでたと思います。

2 班の主な意見

よいところ

- ・石風呂が完備されている
- ・眺望・すばらしい景観(農道2号から発射基地、黒矢様から、回天基地の夕日、がまの風景など)
- ・外海側によい釣り場がある
- ・刈尾海水浴場がある
- ・さつまいもがうまい(全域で)
- ・伝統ある平家踊りが継承されている
- ・島全体が家族みたいである



わるいところ

- ・船便が不便、浅橋が不備な箇所がある
- ・中学校舎が利用されていない
- ・黒髪島ではタヌキが多い(畑があらされる)
- ・荒廃して竹やぶばかり
- ・道路が不十分、交差点巾が狭く危険な場所がある
- ・少子高齢化が進んでいる
- ・市街化調整区域が島の発達を妨げている



まちづくりのキーワード・テーマ

～住みたくなくなる大津島～

施策メニュー

- ・市街化調整区域の適用から除外する
新住民の定住。浄化槽に補助をする
- ・別荘地として整備する
- ・竹の魚礁を竹炭などに利用する
- ・波返し等の整備のし方の工夫が必要
- ・釣場の環境を守る
- ・道路の改善をおこなう
- ・石風呂から砲台へ上がる道の整備をする
- ・船便、船賃の改善をする
- ・公園に潮に強い木、島に来た人も楽しめる遊具をつくる
- ・中学校跡を福祉施設に(老人ホームなど)する
- ・救急船の整備をする
- ・イベント時に平家踊り長持うたを披露する
- ・人を呼ぶ工夫でイベント性の高い島にする
- ・大津島八十八ヶ所の再整備
- ・くらしやすいまちづくりのためには、住んでいる人の意見をよく聞いてほしい



★ワークショップに参加して (終了後のアンケートのご意見です)

- ・改めて“島”という環境の良さ、難しさを実感しました。訪れてみて分かることも多いように思います。もっともっとアピールする必要性を感じました。

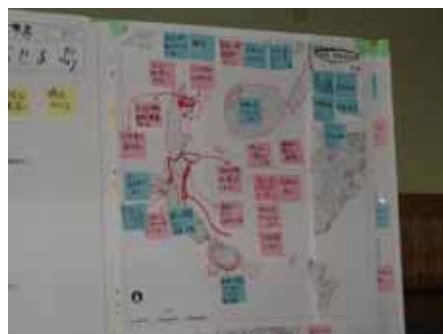
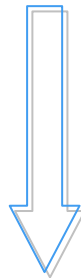
3班の主な意見

よいところ

- ・御影石がたくさんある
- ・古い石風呂がある
- ・砲台山より四国、九州が見える、柳浦～馬島へ行く道から見る景色がよい（徳山側）
- ・桜が綺麗（本浦～刈尾）
- ・親切、何事にも協力的、治安が良い

わるいところ

- ・道が狭く、大型車が通れない、道路が危険である（大雨時等のがけ崩れ）
- ・急病のとき救急車がない
- ・土砂災害の危険がある
- ・食べ物を買う店がない
- ・海水浴客が減っている
- ・がまの群生地、秋～冬に綿が飛ぶ
- ・田んぼがなくなった
- ・人口が少ない



まちづくりのキーワード・テーマ

安心して暮らせる、はたらく場所、安心して暮らせる島

施策メニュー

- ・空家調査を行い、空家を活用する
- ・商業や漁業の後継者を育てる
- ・道路整備への負担を軽減する
- ・安全な道路になるよう整備する
- ・橋をかける
- ・フェリー乗り場の駐車場の整備をする
- ・釣り場の整備をする
- ・観光客が島内を移動がしやすくなるような対策を検討する
- ・海水浴客のためのお店の整備をする
- ・「回天」をもっと活用する



◆ “瓦版”いかがでしたでしょうか。ワークショップをもう一度ふり返っていただければ幸いです。お気づきの点、付け加えたいこと、新しい提案などがございましたら、また都市計画や緑に関することなどまちづくり全般に関わるご質問がございましたら、遠慮無く都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかねばなりません。今後ともご理解・ご協力をお願い致します。

